

令和 3(2021)年度事業報告書

全 般

新型コロナウイルス（以下「コロナ」という。）感染症の国内新規感染者数は年度当初は低く推移したが変異株の出現もあってワクチンの第3回接種が進められる中増加し、年度末には高止まりとなった。8月には神奈川県に緊急事態宣言が発令され、横須賀市の対応に合わせ39日間休艦した。

多くの行事が中止または縮小を余儀なくされ年度末に10万人目の来艦者を迎えることはできたが、コロナ禍前の約4.5割程度にとどまっている。このため人件費を含む経費の削減に努め雇用調整助成金等の公的助成を活用したが、今年度も基本財産を取り崩した。

総観覧者数は100,355名（前年度比141.5%）、観覧料は44,881千円（前年度比135.3%）となった。

売店売上額は、休艦中も通信販売を継続し、26,098千円（前年度比125.9%）となった。

1 新型コロナ感染拡大防止対策

(1) 休 艦

神奈川県緊急事態宣言の発令（8月2日から9月30日）に伴う横須賀市の施設の対応に合わせて8.23(月)～9.30(水)の39日間休艦した。

(2) 艦内態勢

ア 新型コロナ感染予防の啓発パンフレットを掲示した。

イ 毎朝来艦者が接触する部分の清掃及びサーモカメラによる検温、消毒用アルコールの設置、大型扇風機による強制換気等の新型コロナ感染予防対策を継続した。

ウ 5.20(木)、21(金)階段手摺、ドアノブ等の洗浄除菌・抗菌コート及び中甲板中央部通路の清掃を実施した。（業者施行）

エ 定時ガイドツアーは、上甲板で1グループ20名以下を基準として実施した。

オ 三笠職員に新型コロナウイルス感染者が発生した際の対応及び公表要領について検討した。

(3) 職員の勤務態勢

休艦中は2名勤務で対応し、開艦中は来艦者の少ない平日は業務に支障のない範囲で職員を休業とした。

(4) 助成金等

以下の助成金等について手続きを行った。

名 称	実施主体等	金額(万円)
雇用調整助成金(新型コロナ特例)	厚生労働省	810.6
GoTo トラベル分配金	国土交通省	1.0

一時支援金	経済産業省	60.0
文化芸術振興費補助金	文化庁	83.9
酒類販売事業者給付金	神奈川県	200.0
	合計	1,155.5

2 艦の修理整備

(1) 官（海上自衛隊）による修理工事

ア 電気の部

高圧受電設備定期点検
12 番砲室電気配管交換

イ 船体の部

木甲板新替（前甲板）
満艦飾掲揚ウィンチ(4 台)新替え
前部艦橋海図室右舷ドア補修
後部マスト貫通部調査
前部艦橋雨水排水管交換
新木甲板材耐用試験
給水管漏水調査
講堂床補修

ウ 船体の長期保存に関する調査等

岸壁・土壌等現地調査（海幕施設課）
船体肉厚調査（専門業者）

(2) 保存会による整備

前部艦橋雨水排水管つまり調査(業者施行)
前部主砲等の塗装、除草（職員整備）
木甲板等の補修（前整備係長に委託）
火災報知器(29 個)の交換(メーカー補償)
保安室エアコン交換(業者施行)

(3) 海上自衛隊員等による奉仕整備

第2術科学学校課程学生による塗装、除草等の奉仕作業計5回（延べ90名）

3 展観態勢

(1) 資料の整備等

艦首飾り補修（補償工事）

(2) 収蔵資料の現況（R4.3.31 現在）

種類 \ 区分	三笠保存会 (所蔵品)	海上自衛隊 (無償借受)	個人 (寄託)	3年度 受入 (所蔵品)	合計
勲章	51	0	12	1	64
武器	64	0	3	0	67

絵画	82	5	8	0	95
印刷	160	11	2	0	173
書	188	52	40	1	281
被服	86	0	9	0	95
写真	307	195	9	0	511
証紙	112	0	5	0	117
旗布	15	0	3	0	18
工作	126	21	12	0	159
陶器	19	0	4	0	23
彫刻	23	0	1	0	24
模型	24	9	37	0	70
計器	19	0	3	0	22
録音	28	0	0	0	28
図書	79	0	2	0	81
展示物品	0	8	0	0	8
合計	1383	301	150	2	1836

(3) 資料の貸出

3.9(水)～ 坂の上の雲ミュージアムに以下の8点を貸出中である。

①戦艦三笠の速力通信器表示盤②海図室名板③明り取りガラス④ロシア軍艦の時鐘⑤速力通信盤⑥ネボガトフ少将の肩章⑦剣緒⑧下瀬火薬の略歴

(4) 「三笠秘蔵 連合艦隊 艦隊コレクション」

日露戦争時の艦船模型(購入予定数:84隻)のうち、2隻(三等巡洋艦 須磨、明石)(累計:28隻)を購入した。

(5) その他

銃砲刀剣類の一斉検査を横須賀警察署にて受検した。

4 主催行事

感染状況に鑑み内容を見直した。

(1) 日本海海戦116周年記念行事

コロナ禍のため2年連続式典を中止した。

記念の日を祝うため満艦飾とし、保存会職員により艦内の三笠神社を参拝し、祝意を示すとともに戦没者を慰霊した。また、理事長が日本海海戦の意義とその影響を伝承していく重要性について訓話を行った。

(2) 夏休み企画「三笠こどもミュージアム」

7.17(土)～8.27(金)の予定で、以下のイベントを計画したが、8.23(月)から休艦となるため同日をもって中止した。

- ・「書き込んで完成!三笠こどもノート」の配布
- ・三笠こどもスタンプラリー
- ・みかさ工作ルーム(みかさうちわ等の塗り絵)の開設

- ・掲揚軍艦旗等プレゼント申込み受付
 - ・復元 60 周年記念品(三笠サウンド模型 (1/500))の抽選による贈呈 (平日 1 台、休日 4 台)
 - ・海上自衛隊横須賀音楽隊艦上演奏会 (8.1 (日) 取止)
- (3) 第 58 回「船の模型コンクール」展示
 休艦中のため市の教育委員会とも調整し 9.1(水)～9.26(日)の予定で計画したが、10 月から開艦できたことからご家族の強い要望もあり 15 日間延長し 10 月 11 日まで展示した。
 ほぼ例年並みの 569 点の参加を得、休艦中は展示状況をユーチューブで配信した。来艦した保護者、子供たちは 729 名であった。9.8(水)教育委員会の指導主事の審査を行い優秀作品作成者に表彰状等を郵送した。
 各学年の金賞作品 (計 6 点) を中央展示室右舷側通路に 1 年間展示している。
- (4) 正月イベント
 正月三が日以下のイベントを行い、来艦者とともに新年をお祝いした。
- ・パワースポット (三笠神社、最上艦橋) 巡り
 - ・スタンプラリー
 - ・甘酒振舞い
 - ・掲揚軍艦旗等プレゼント申込み受付
- 三が日合計で 1,973 名 (昨年比 133.2%) の来艦者があった。
- (5) 第 29 回書初め大会
 1.4 (火) 小学生 25 名の参加を得て開催した。教育委員会の指導主事により優秀作品を選考し、同日午後、講堂で表彰式を実施し、賞状と副賞を授与した。
- (6) 新春たこあげ教室 (共催)
 1.9 (日) 三笠公園を管理する西武パートナーズとの共催で開催した。子供 15 名及び同保護者 14 名の参加を得て午前中下甲板でたこを作成、昼食後公園にて親子でたこあげを楽しんだ。
- (7) 中止した行事
 子供プラモデル教室
 三笠こどもラジオ教室

5 協賛行事

- (1) 三笠商店街「三笠復元 60 周年」企画に協賛
 三笠商店街中央の展示スペース (歴史ギャラリー) に「三笠復元 60 周年記念パネル」、両入口に「復元 60 周年記念の横断幕」を展示している。パネル作成のための資料提供、内容の監修に協力した。
 なお、パネルの複製を艦内に展示している。
- (2) よこすか京急沿線ウォーク 2021
 6.25(金)～8.15(日)の間、横須賀集客促進・魅力発信実行委員会主催の同イベントに協賛し、イベント参加者の一般観覧料を 100 円引きとした。

(3) 横須賀流灯会（灯籠流しの会）

7.15(水)灯籠流しは中止となったが、お供物の受入（産廃コンテナの設置）に協力した。

(4) JAF 夏休み特集

6.14(月)～8.31(火)の間、JAF が企画する夏休み特集に協賛し、JAF アプリクーポンを提示の方は特別優待（一般、シニアの観覧料 300 円）とした。

(5) ベネフィットワン夏のレジャー特集

7.12(月)～9.30(木)の間、ベネフィットワンが企画する夏のレジャー特集に協賛し、アプリクーポンを提示の方は特別優待（一般、シニアの観覧料 300 円）とした。

(6) デジタルみさきまぐろきっぷ

6.22(火)～7.21(水)の間、三浦・三崎観光の前後に横須賀市にも立ち寄っていただく狙いで開発されたきっぷの発売に協賛し、同きっぷ提示の方は観覧料 100 円引きとした。

(7) ルートミュージアムデジタルスタンプラリー

10.1(金)～3.31(木)の間、横須賀集客推進・魅力発信実行委員会が主催する同イベントに協賛し、スタンプラリーポイントとして舷門入口にスタンプ台を設置するとともに景品を提供した。

(8) よこすか海洋シンポジウム 2021

10.31(土)よこすか市民会議（YCC）が主催する同イベントに協賛し、テーマ「横須賀と東京湾の交通安全 浦賀燈明堂から観音埼レーダー施設まで」のシンポジウムに講演会場として講堂を提供した。（参加者：120 名）

(9) チャリティーJAZZ LIVE&横須賀の港絵画展

11.3(水)（一財）シティーサポートよこすかが主催する同イベントに協賛した。

前甲板において JAZZ LIVE を開催、天候にも恵まれ約 200 名の方が参加された。また、ドローンによる空撮映像を交えてユーチューブによるライブ配信が行われた。

11.3(水)～11.10(水)の間、横須賀出身画家故武村次郎氏の横須賀の港絵画展を 7,9 番砲室及び右舷通路で開催した。

(10) よこすか海のアニメカーニバル

11.13(土)～11.28(日)の間、海アニ実行委員会、横須賀市集客促進・魅力発信実行委員会の主催する同イベントに協賛し、講堂後、7,9 番砲室、通路にパネル等を展示した。また、売店では関連グッズが付いた特別観覧券を販売するとともに、ポストカード、ステッカー等の関連商品を委託販売した。

(11) 国旗のある自由画展

11.11(木)～12.14(水)の間、国旗協会の作品展に協賛し、第 2 ビデオ室に金賞作品 14 点を展示した。

(12) 三笠艦記念第 13 回スポーツひのまるキッズ関東小学生柔道大会

11.21(日) 関東近県の他、関西、北陸までの 1 都 1 府 13 県から豆柔道家が集まり横須賀市総合体育館で開催された「親子の絆」と「柔道の本質」をテーマとした同大会に協賛し、参加賞等を提供した。参加者は 500 名で、保護者の数も限定して

開催された。

(13) 横浜マリノスカラーのライトアップ

12.1(水)～12.19(日)の間、横浜マリノスを応援するホームタウン横須賀市からの依頼に協力し、マリノスカラーのライトアップを行った。初日には関連イベントとして点灯式やマリノスケと応募された参加者の写真撮影に協力した。

(14) 第65回横須賀海洋教育フォーラム

12.25(土)公益社団法人日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会が主催する同イベントに協賛し、テーマ「海の中から見た船」のフォーラム会場として講堂を提供した。第1部では研究者による海中の音等について発表があり、第2部では神奈川大学附属高校歴史研究部により三笠の復興に関する研究発表「かえってきた三笠～119年の航跡」が行われた。(参加者約80名)

(15) 中止された協賛行事

- よこすかスプリングフェスティバル
- よこすかカレーフェスティバル
- よこすかYYのりものフェスタ
- よこすか産業まつり

6 広 報

(1) 委託ガイドによる定時艦内ガイドツアー

土日及び祝日、艦内ガイドツアーを629回、延べ11,244名実施した。

(2) SNS 広報

フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、トリップアドバイザーなどでの情報発信に努めており、各サイトでのフォロワー数も着実に増加している。また、休艦中にも「船の模型コンクール」の展示状況をユーチューブ動画サイトで発信し、出品児童、父兄等の強い見学の要望に応えた。

(3) メールマガジン

三笠に対する関心を維持向上するため、役員及び会員等の希望者(約350名)に対し行事の予定、実施の状況等をお知らせするメールマガジンを四半期毎計4回(33-36号)配信した。

(4) 会報「みかさ」

「みかさ」34号を作成し、会員及び関係先に配布した。

(5) 看板等の設置

ア デジタルサイネージ(動画での案内板)

より高い集客効果が期待できる横須賀横浜道路横須賀パーキングエリア及び東郷神社に追加設置した。京急横須賀中央駅は継続中である。

イ ポスター類の掲示

三笠こどもミュージアム及びお正月イベントのポスターを市内の京急・JR各駅に、チラシを三浦半島内のマクドナルドスタンドに配架した。

ウ その他

横須賀市観光協会に協力し観光案内のためのリモートコンシェルジュの装置を艦内に設置した。

(6) 広報資料の配布

旅行者への DM によるパンフレット配布は、コロナ禍による団体の来艦が見込まれないことから中止した。

(7) 新聞、広報誌等への広告

朝雲新聞(2件) 神奈川新聞(2件) 産経新聞/タウンニュース(ローカル情報紙)/防衛協会会報/東郷(各1件)への掲載

(8) 行事等の新聞等への掲載

産経、神奈川、読売、タウンニュース、広報よこすかなどに特別展等のイベント関連記事が掲載された。(13件)

(9) 報道機関等への協力

ア テレビ局等への動画撮影協力

フジテレビ「One hour センス(旅番組)ロック歌手 浅井健一氏)

「世界の何だこれ!? ミステリー」

NAVITIME 市内観光紹介ビデオ撮影協力

グローバル共和国(相互啓発により社会貢献を行う団体) 地域紹介番組ネット放送撮影協力

文化庁日本遺産コンテンツバンク事業撮影協力

横須賀商工会議所VR店舗(調味商事)撮影協力

アディーレ法律事務所 CM撮影協力

ミュージックビデオ作成協力

サンミュージック ユーチューブ配信取材(三笠記念メダル紹介)

アプリゲーム撮影 (株)ZIZAI 18名

イ 雑誌等

雑誌「丸」8月号 横須賀市軍港遺産の楽しみ方/日本海海戦116周年の紹介

輸入車販売会社 メルセデスベンツオーナー向け雑誌 三笠紹介

南海電鉄社内報 京急コラボ企画「三浦半島満喫トリップ」

旅行誌「地球の歩き方」 タイ人向け紹介記事取材

(10) 博物館実習

12.1(水)~12.7(火)の間、大学生1名(東京農業大学)の研修を受入れた。

(11) バス会社のガイド、三笠ガイド協会の研修に協力した。(各1件)

(12) 横須賀市役所観光課、市長室国際交流・基地対策課からの観覧依頼に応じて、無料観覧を許可するとともに希望により案内を実施した。(4回32名)

(13) 横須賀海洋少年団活動の活動、訓練に6回協力した。

7 観覧者数等

(1) 観覧者数

無料観覧者を含めた観覧者数は100,355人(前年度比141.5%)であった。

月 別	令和3年度	前年度比 (%)	令和2年度
	有料観覧人員		有料観覧人員
4	6,828	4241.0	161
5	10,203	-	0
6	5,440	210.7	2,582
7	7,513	100.1	7,507
8	5,762	52.0	11,078
9	0	0.0	9,471
10	8,465	100.4	8,434
11	11,501	110.5	10,406
12	6,603	138.8	4,758
1	6,547	293.7	2,229
2	5,401	-	0
3	10,009	195.8	5,111
有料計	84,272	136.5	61,737
無料計	16,083	174.9	9,206
総計	100,355	141.5	70,943

(2) 団体観覧者数 5,354名 (前年度比:117.8%)

(3) 観覧収入は44,880,900円 (前年度比135.3%) となった。

参考R1(2019)年 104,090,200円 (43.1%)

(4) 団体に来艦した学校数等 (コロナ禍前は約55校、約3000名)

	小学校	中学校	高 校	大学等	特殊学校	米軍	学校計	人数
3年度	17	13	6	3	8	0	47	3,432
2年度	6	3	1	2	3	0	15	805

(5) 外国人の来艦者数 (コロナ禍前は約5500名)

3年度	1335名
2年度	775名

(6) 主要来観者

4月	横須賀地方総監 酒井 良海将 (着任挨拶) 幕僚長 松本 完海将補(着任挨拶)
6月	横須賀市長 上地克明氏 (ふるさと納税:横須賀市長感謝状贈呈式)
7月	防衛大臣主催昼食会 英国国防大臣 ベン・ウォレス 第1海軍卿 海軍大将 トニー・ラダキン 空軍参謀長 空軍大将 マイケル・ウィグストン 在日英大使 ジュリア・ロングボトム 在日英大使館付国防武官 サイモン・ステイリー 防衛大臣政務官 松川るい 防衛省 内局 防政局次長 野口 泰

	海上幕僚長 海将 山村 浩 航空幕僚長 空将 井筒 俊司 横須賀地方総監 海将 酒井 良 なお、昼食会後松川政務官は「第1回日印フォーラム」(オンライン会議)に長官公室から参加した。
2月	防衛副大臣及び政務官三笠視察 防衛副大臣 鬼木 誠 防衛副大臣秘書官 安井 公一 横須賀地方総監 海将 酒井 良 海幕 総務部長 海将補 稲田 丈司 防衛大臣政務官 岩本 剛人 防衛大臣政務官秘書官 八木 和美 横須賀地方総監部幕僚長 海将補 松本 完 海幕 総務副部長 小杉 正博

(7) 防衛省職員の研修

自衛隊の10部隊等の隊員・職員(延べ1,082名)が研修のため来艦した。

8 会 員

(1) 会員数

会員の種類		新入会員数		年度末会員数	
		3年度	2年度	3年度	2年度
個人 会員	通常会員	58	53	659	720
	終身会員	65	70	2,375	2,364
	維持会員	14	12	201	190
	小計	137	135	3,235	3,274
法 人 会 員	通常会員	1	1	46	50
	終身会員	2	0	26	24
	維持会員	0	0	17	17
	小計	3	1	89	91
合 計		140	136	3,324	3,365

(2) 月別会費収入(単位:千円)

年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3年度	566	756	356	262	184	175	276	337	316	372	199	316	4,115
2年度	249	459	385	412	251	402	198	246	238	204	282	494	3,820

(3) 会員対策

ア 海自2術校において上級管理講習参加者に対し、三笠保存会の概要説明と入会勧誘を2回実施した。

イ 海自各総監部管理部長と基地業務隊司令に三笠保存会入会案内の書類を送付し退職隊員への入会勧誘を依頼した。

ウ 会員優待券は、コロナ禍の影響で休艦があったこと、会員優待券の利用が少なかったことから、有効期間を更に1年間延長した。

9 運 営

(1) 会 議

5.31(月)第37回運営委員会	(文書審査)
6.11(木)第20回理事会	(決議の省略)
6.29(木)第20回評議員会	(決議の省略)
9.16(木)第38回運営委員会	(文書審査)
11.18(木)第39回運営委員会	(文書審査)
1.20(木)第40回運営委員会	(文書審査)
3.14(月)第21回理事会	(決議の省略)
3.28(月)第21回評議員会	(決議の省略)

(2) 理事等の交代

	退 任	就 任	記 事
評議員	佐藤 紘志	-	7.16(金)ご逝去
理 事	齋藤 順也	門井 秀孝	6.19付 横須賀青年会議所理事長交代に伴い
理 事	上条 浩	倉林 孝英	3.28付 横須賀市文化スポーツ観光部長交代に伴い

(3) 職員基本給表の改定

3.10.1神奈川県最低賃金が1時間1,040円となったことにより、三笠保存会給与支給規則別表「基本給表」の最低等級最低号俸額(4等級1号俸:153,000円)が最低賃金を下回るため、これを是正し、改正最低賃金を上回る額158,000円(5,000円増額)とした。これに倣って「基本給表」各等級各号俸額を5,000円増額し全部を改定した。

(4) 職員人事

ア 職員の異動については次のとおりである。

配 置	退 職 (年月)	採 用 (年月)
整備係長	鈴木 弘長(3.7)	
売店店員	大屋 紀子(3.9)	藤野 真弓(3.9)
売店店員	鈴木 繫美(3.12)	伊藤 景子(3.12)

イ 3年度末における職員数は次のとおりである。

正職員	再雇用職員	パート	計
5(1)	6	4(4)	15(5)

注:()は女子職員を示し、内数である。

(5) 関係官公庁、友好団体等行事への参加

コロナ禍のため多くの機会が失われたが、横須賀市新年賀詞交歓会、洗心懇談会、東郷会常務理事会に機会が得られたので参加した。

(6) 職員の教育・研修

4.29(木) 安全教育(危険物取り扱い及び少量危険物倉庫)

- 6.2(水)、6.9(水)説明要領の勉強会(中学生への説明要領の相互の啓発を図った。)
 12.15(水) 自主防災訓練(地震発生時及び火災発生時の初動対処、観覧者避難誘導方法の演練)

10 売店部

- (1) 休艦に伴い同期間は閉店としたが、通信販売は継続した。
 (2) 営業収入
 3年度商品総売上高は26,098千円であり、前年度比125.9%となった。
 (3) 通信販売
 三笠ホームページ・ショッピングサイトでの販売実績は、取扱件数167件(前年度比62.8%)、販売金額726千円(前年度比61.4%、売上金額の2.8%)であった。
 (4) 新商品
 ア マグネット(三笠公園)
 イ 2022年世界三大記念艦「三笠」カレンダー
 (5) キャッシュレス実績

(R4.3.31現在)

種別	取扱件数(件)	販売金額(円)	対売上高	備考
クレジットカード	1,143 (前年度比137.9%)	3,129,936 (前年度比152.2%)	12.0%	NICOS、JCB等
交通系ICカード	1,489 (前年度比131.1%)	1,186,488 (前年度比137.8%)	4.5%	スイカ、パスモ等
QR決済	1,348 (前年度比181.4%)	1,608,046 (前年度比196.4%)	6.2%	ペイペイ、アリペイ等
合計	3,980 (前年度比147.0%)	5,924,488 (前年度比158.6%)	22.7%	

- (6) 棚卸
 4半期毎に棚卸しを実施し、適切に処理されていることを確認した。

11 その他

- 6.25(金)篤志家から戦艦三笠模型(1/500 サウンド付ディスプレイモデル:天賞堂製)340台を受領した。(2017年にも175台受領)
 来観者等への記念品等として有効に活用している。